

病理専門医への道筋

病理専門医 … 疾患の「最終診断」を下す医師。患者治療には病理診断が不可欠です。

卒業

●医師国家試験合格

卒業
1-2年

●医師臨床研修（2年間） … 「診療」における病理診断を経験してみよう

- * 術中迅速病理診断：腫瘍が取り切れているか、悪性が良性かなどを手術中に迅速に判断し外科領域の手術を支援
- * コンパニオン病理診断・ゲノム病理診断：悪性腫瘍細胞等の異常タンパクの過剰発現や遺伝子変異を病理組織学的に探り、治療効果予測や治療薬選択などに貢献
- * 病理解剖：生前に施した治療や臨床診断をCPC等を通して病理医とともに相互検証し、次の診療に役立てる

2年目の秋

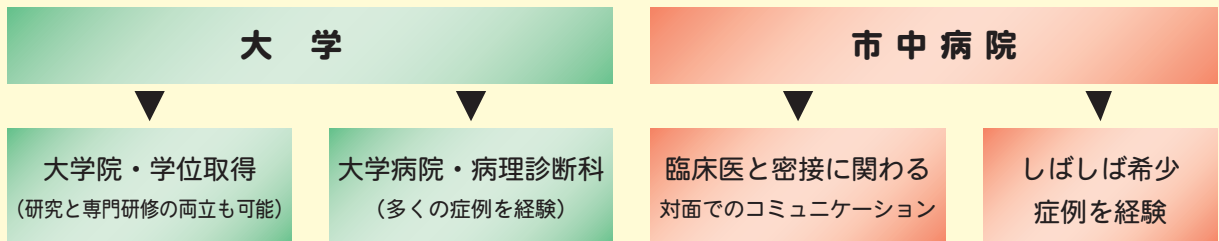
- ✓ 日本専門医機構へ専攻医登録
- ✓ 希望する研修プログラムへ応募

おさえよう

1. 自分が経験した症例の病理診断を病理医とともに顕微鏡で観察
2. 病理診断科をローテート
3. 病理解剖を経験（見学）

卒業
3-5年

●【基本領域】病理専門医研修開始（3年間） … 日本専門医機構の専攻医として病理専門研修を行います



1. 研修手帳に沿って病理診断の修練を積み、病理専門医取得を目指して病理診断力を身に付けよう。
2. 病理学会総会や地方会（症例検討を含む）に積極的に参加・発表するなどして知識を深めるとともに他医療機関や多職種等と交流し人脈を広げよう。

卒業
6年目

●病理専門医取得 → 病理専門医として全国の大学、病院等で勤務 START

大学院等進学

病理学研究者

コンサルタントへの道
得意分野・臓器の病理診断専門医

関連する各種学会等への加入
規約委員への就任
海外留学等

細胞診専門医の取得

分子病理専門医^{注1)}の取得
分子病理診断・エキスパートパネル^{注2)}で活躍



(病理専門医取得から5年後)

卒業
7年目以降

注1) 遺伝子変異等、分子病理学に精通した病理専門医。病理専門医取得後カリキュラム等を研修したのちに受験し資格を取得
注2) がんゲノムプロファイリング検査に基づいて治療方針などを検討する会議。構成員には分子病理学に精通した複数名の病理医が必要とされ、実施には少なくとも1名の病理医の出席が定められている。

卒業
11年目以降

病理専門医研修指導医

病理専門医研修指導責任者

**病理診断・教育・研究、
地域貢献、国際交流、
国際協力等 幅広く活躍**

病理学会指導医
取得が可能